

ニコライ・ホジヤイノフ

Nikolay Khozyainov

ピアノ・リサイタル

オール・ショパン・プログラム

アンダンテ・スピアナート 作品22
即興曲 第2番 嬰へ長調 作品36
夜想曲 第7番 嬰ハ短調 作品27-1
子守唄 変ニ長調 作品57
練習曲 第7番 嬰ハ短調 作品25-7
練習曲 第2番 へ短調 作品25-2
練習曲 第3番 へ長調 作品25-3
バラード 第2番 へ長調 作品38

華麗なる大円舞曲 変ホ長調 作品18
マズルカ 第36番 イ短調 作品59-1
マズルカ 第37番 変イ長調 作品59-2
マズルカ 第38番 嬰へ短調 作品59-3
ワルツ 第6番 変ニ長調 作品64-1
ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2
ワルツ 第8番 変イ長調 作品64-3
前奏曲 第7番 イ長調 作品28-7
前奏曲 第8番 嬰へ短調 作品28-8
バラード 第4番 へ短調 作品52

誰もが待ち望んだ
本物のショパン!

2022.5/24(火) 19:00開演(18:15開場)

渋谷区文化総合センター大和田
さくらホール

全席指定 S¥5,500 / A¥5,000(税込)

〈チケット取扱い〉

オフィス諷雅 support@officefuga.jp

チケットぴあ <http://t.pia.jp> [Pコード:209-589]

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード:33785]

主催:オフィス諷雅

オフィス諷雅 HP <https://www.officefuga.jp>

お問い合わせ:オフィス諷雅 support@officefuga.jp

一般発売
3/12(土)

「ショパン 最後のリサイタル」

1848年。パリの街並みにもうひとつのフランス革命が訪れます。ショパンはすでに、20年以上にも渡る病魔との闘いで疲れ果てていました。

貴族である友人たちはみな、パリから離れてしまいました。ショパンはただひとり、収入のあてもないまま、革命のパリにいたのです。あらゆる時代における偉大な詩人の一人であるショパンは、少しずつ、しかし確実に最期の公演への準備を進めていました。そして最後の公演は英国で行われました。霧雨が降り続く英国が、ショパンにとって聴衆と最期に会話を交わす場となったのです。

ショパンは当時、自ら望む作品を弾けるような身体的状態ではありませんでした。そこで、マズルカ、ワルツ、ノクターンといった小品を弾くことにしたのです。何年にも渡って音楽に注いできた心の告白は、特別で神聖な意味を持つこととなったのです。

私がおここに表したプログラムは、ショパンが1848年10月4日にエディンバラで弾いたのをベースに選曲いたしました。ソロ・リサイタルとしてはおそらくショパンにとって唯一のものと思われる。というも、彼の演奏会はいつも声楽曲による間奏曲を伴っていたからです。

後のショパンのロンドンへの登場は、ポーランドが独立を求めて戦ったことに捧げられたものであります。それはコンサートではなく、小さな部屋で行われた舞踏会でした。ショパンは自らの曲を数曲弾きましたが、楽しいダンスを終え、息をつく参加者に何度も妨げられてしまいました。参加者の殆どが、そこにショパンがいたことに気づいていなかったのです。

ショパンがエディンバラで弾いた正確な内容についての議論は今日にまで至ります。私は、ショパンがこのリサイタルに先立って弾いていたものを調べ上げたところ、何を弾いていたのかが明らかになってきました。

イングランドでの演奏会でショパンが毎回弾いていたのは子守唄でした。この作品の揺れ動く、シンプルな、それでいて深く心に刻まれる詩的なメロディーは、まるで告別の挨拶のように聞こえます。薄れゆく意識が彷徨い、若年期に作曲した音楽から、後期のマスターピースへと移りゆく、というショパンをたどることができます。幸せだった青年期から、後期のワルツ、後期のマズルカの現実へと引き戻されてしまいます。

(ニコライ・ホジャイノフ)

ニコライ・ホジャイノフ (ピアノ) Nikolay Khozyainov, piano

2010年10月に行われた、第16回ショパン・コンクール(ワルシャワ)での最年少ファイナリストとなった折には批評家たちから、「極めて大きなスケールの素晴らしいアーティスト。偉大なるロシアン・ピアノの系譜を受け継ぐものとして、ホジャイノフはショパンの感受性に最も近い。その演奏には魂が込められていた。」と絶賛された。他にも、2012年、ダブリン国際ピアノ・コンクール優勝、同年シドニー国際ピアノ・コンクールにおいて2位入賞および、シドニー交響楽団の楽員が選出する最優秀協奏曲賞をはじめ、最優秀リスト演奏賞、最優秀シューベルト演奏賞、最優秀ヴィルトゥオーゾ研究賞、最年少ファイナリストを同時に受賞するなど、その受賞歴は枚挙にいとまがない。

これまで、フィルハーモニア管弦楽団、東京交響楽団、シドニー交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、ロシア国立交響楽団、読売日本交響楽団、アイルランドRTEナショナル交響楽団などを含む多数のオーケストラと共演。2018年1月にはサントリーホールで行われた公演に、上皇明仁陛下、上皇后美智子陛下が臨席された。2013年8月、NHK Eテレ「らららクラシック」に出演。2021年ショパン・コンクールの演奏も話題をさらう。



渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

- 徒歩でお越しの方: JR渋谷駅西口から徒歩5分
- バスでお越しの方:
大和田シャトルバス(ハチ公口→文化総合センター大和田)
ハチ公バス(夕やけこやしルート)
※どちらもバス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車。
- お車でお越しのお客様へ
文化総合センター大和田には専用駐車場はございません。
お車でお越しのお客様は周辺の一般コインパーキングをご利用ください。

※曲目・曲順などやむを得ず変更させていただく場合がございます。※未就学児の入場はお断りしております。※車椅子席をご希望の方は、オフィス諷雅までお問い合わせください。
※入場の際、およびおよび本番中も含め必ずマスクの着用をお願いいたします。マスクを着用いただけない場合には、ホールへの入場をお断りさせていただきます。ホール入口に設置の消毒液による手指消毒にご協力ください。※熱のある方(37.5℃以上目安)、頻繁な咳・くしゃみが出る方、その他体調に不安のある方は、ご来場をお控えください。また来場時に不調のある方、および非接触型体温計による体温確認によって体温の高い方は、入場をお断りさせていただきます。